

## インフォシスとハンデルスブラット・メディア・グループが 戦略的提携を発表

ジェネレーティブ AI を活用し、世界経済や金融に関する複雑なレポートを  
よりわかりやすく、一般消費者向けに提供

ドイツ(デュッセルドルフ) - 2024年3月27日：次世代デジタルサービスとコンサルティングのグローバルリーダーである[インフォシス](#) (NSE、BSE、NYSE：INFY) は本日、ドイツのビジネス・金融情報の大手メディア企業である[ハンデルスブラット・メディア・グループ](#)との戦略的協業を発表しました。インフォシスは、ハンデルスブラット・メディア・グループの AI およびデジタル・イノベーション・パートナーとして、ハンデルスブラットの主要な読者に情報を提供し、喜んでもらうための革新的なストーリーテリングに最高のデジタル技術を提供します。

このパートナーシップの初年度、インフォシスは[ハンデルスブラット・メディア・グループ](#)傘下の独立経済研究所である[ハンデルスブラット研究所](#) (HRI) と協力します。インフォシスは、ジェネレーティブ AI 技術を活用した AI ファーストのサービス、ソリューション、プラットフォーム群である [Infosys Topaz](#) を活用し、世界経済・金融トピックに関する複雑な HRI のレポートを、一般の人々がよりアクセスしやすく、消費しやすいものにするために HRI を支援します。

HRI は一貫してレポートのデジタルストーリーテリングを進化させており、今回インフォシスとの協業を活用することで、チャット機能、テキストの翻訳・変換、テキスト読み上げ、データの自動更新など、新時代のカスタマイズが可能になります。これらのイノベーションは、スマートで、信頼性が高く、科学的な分析を特徴とし、経済・金融情報の広く利用可能な情報源である HRI のレポートを、没入感のあるプレゼンテーションにするのに役立ちます。

ハンデルスブラット研究所のマネジング・ディレクター、ヤン・クライブリンク博士は、「インフォシスとの協業により、AI を活用した最先端のトレンドレポートを提供できることをうれしく思います。ハンデルスブラット研究所の中核業務のひとつは、複雑な経済関係と科学的分析結果を幅広い読者に提示することです。私たちは、最高品質のジャーナリスティックな文章と、高品質のインフォグラフィックスに基づく視覚的なストーリーテリングによって、これを実現しています。インフォシスを AI とデジタル・イノベーションのパートナーとして迎えることで、私たちは AI を活用したデジタル・ストーリーテリングの次の段階に進むことができます」と述べています。

インフォシスの EVP 兼サステナビリティ・グローバルヘッド、サービス・公益事業・資源・エネルギー担当のア

**シス・クマール・ダッシュ**は、「経済と金融に関する詳細な調査レポートで知られる組織の AI とデジタル・イノベーションのパートナーになれたことを嬉しく思います。Infosys Topaz を通じて当社のジェネレーティブ AI 能力を活用することで、ハンデルスブラット・メディア・グループは、ジャーナリズムにおける複雑なレポートのストーリーテリング体験を再定義し、一般の人々がよりアクセスしやすいものにするでしょう。メディア業界は社会のデジタルフアブリックであり、インフォシスは業界のすべてのステークホルダーに常に価値と機会を提供することを目指しています」と述べています。

### **ハンデルスブラット・メディア・グループについて**

ディーター・フォン・ホルツブリック・メディア社（Dieter von Holtzbrinck Medien GmbH）傘下のハンデルスブラット・メディア・グループ（Handelsblatt Media Group）は、ドイツを代表するビジネス・金融情報メディアです。デュッセルドルフに本社を置くこのメディア・グループは 1946 年に設立され、根拠のある独立した質の高いジャーナリズムを標榜し、『ハンデルスブラット』や『ヴィルトシャフト・ヴォッヘ』などの意思決定者向けメディアで 200 万人以上の読者にリーチしています。

ハンデルスブラット研究所（HRI）は 2013 年以来、ハンデルスブラット・メディア・グループ傘下の独立経済研究所です。チームはさまざまな経済調査分野の専門知識を結集し、外部の専門家や専門機関とも緊密に連携している。HRI は、新たな研究アプローチを抽出し、新たな解決策を提案することで議論を前進させることを目的に、経済トピックに関する世論の議論の行方を監視しています。

### **インフォシスについて**

インフォシスは、次世代デジタルサービスとコンサルティングのグローバルリーダーです。30 万人以上の社員が、人間の可能性を増幅させ、人々、ビジネス、コミュニティのために次の機会を創造するために働いています。インフォシスは、56 カ国以上のお客様のデジタルトランスフォーメーションを支援しています。40 年以上にわたってグローバル企業のシステムと業務を管理してきた経験を生かし、クラウドと AI を活用したデジタルトランスフォーメーションを推進するクライアントの舵取りを専門的に行います。私たちは、AI ファーストのコアでお客様を支援し、アジャイル・デジタル・アット・スケールでビジネスを強化し、私たちのイノベーション・エコシステムからデジタル・スキル、専門知識、アイデアを移転することで、常時学習による継続的な改善を推進します。私たちは、多様な人材がインクルーシブな職場で活躍する、適切に管理され、環境的に持続可能な組織であることに深くコミットしています。

[www.infosys.com/jp/japan.html](http://www.infosys.com/jp/japan.html) を訪れて、Infosys（NSE、BSE、NYSE: INFY）があなたの企業が次に進むためにどのようにお手伝いできるかをご覧ください。

### **セーフハーバー条項**

本リリースに記載されている当社の将来の成長見通し、または将来の財務・業績に関する記述は、1995 年米国私募証券訴訟改革法（Private Securities Litigation Reform Act of 1995）に基づく「セーフハーバー（免責条項）」の適用を目的とした将来見通しに関する記述であり、実際の結果や業績がかかる将来見通しに関する記述と大きく異なる可能性のある多くのリスクや不確実

性を含んでいます。これらの記述に関連するリスクと不確実性には、当社の事業戦略の実行、人材の獲得と維持能力、ハイブリッド・ワークモデルへの移行、経済の不確実性、ジェネレーティブ AI などの技術革新、移民規制の変更を含む複雑で進化する規制環境、当社の ESG ビジョン、当社の資本配分方針、当社の市場での地位、将来の事業、利益率、収益性、流動性、資本資源、買収を含む企業行動、サイバーセキュリティに関する期待に関するリスクと不確実性が含まれますが、これらに限定されるものではありません。実際の結果や業績が将来の見通しに関する記述に暗示されているものと異なる可能性がある重要な要素については、2023 年 3 月 31 日に終了した会計年度の年次報告書（Form 20-F）を含む、当社の米国証券取引委員会提出書類で詳しく説明されています。これらの提出書類は、[www.sec.gov](http://www.sec.gov)。Infosys は、証券取引委員会への提出書類や株主への報告書に記載された記述を含め、書面および口頭による将来の見通しに関する記述を随時追加する可能性があります。当社は、法律で義務付けられている場合を除き、当社によって、または当社を代表して随時行われる将来見通しに関する記述を更新する義務を負いません。

**お問い合わせ先：**

Infosys 東京オフィス 安藤

Email : [jo\\_ando@infosys.com](mailto:jo_ando@infosys.com)